

# 大盛況の新年会

## きらら会の演奏楽しむ

### 総会の講演は「真田丸」裏話

関東同窓会の新年会が1月22日夜、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれた。参加者は例年を上回る97人に上る大盛況で、44-5期から85期までの参加者がグラスを手に世代を越えて語らいを楽しんだ。

懇親会に先立つアトラクションは、小諸高校音楽科卒業生有志でつくる「きらら会」のメンバー3人による演奏会。きらら会代表の下村俊子さんから出演者の紹介の後、ピアノの今井麻耶さんの伴奏でチェロの松井明日香さんがサンサーンス作曲の「白鳥」など5曲を演奏。会場を埋めた参加者は、チェロの音色に聴き入った。続いて竹内直美さんのソプラノ独唱は島崎藤村作詞でおなじみの「椰子の実」や、NHKのテレビドラマ「坂の上の雲」のテーマソング「スタンドアローン」などが続いた。最後に竹内さんが関東同窓会側からリクエストした上田高校校歌を独唱。初めて聞くソプラノによる校歌に、会場には大きな拍手と笑顔が広がった。校歌の伴奏の楽譜はなかったが、録音した音源があったため今井さんが楽譜に起こしたという。演奏終了後、会場から「アンコール！」の掛け声上がるなど、大好評だった。

懇親会では冒頭、最近亡くなった先輩方に全員で黙祷。挨拶では高梨奉男会長が上田からも同窓生が新年会に駆けつけてくれたことを紹介した。また、会長は今年の総会が6月27日に開催され、講演はNHKの大河ドラマ「真田丸」の制作プロデューサー屋敷陽太郎氏に決定したこと



を報告。「来年は全国が真田丸で盛り上がる。真田丸に決定した裏話など面白い話が聞けると思う。声を掛け合っ  
て一人でも多く総会に参加を」と呼び掛けた。

盛況で会場が狭く感じられるほどの懇親会は、全員に  
よる「信濃の国」合唱や、校歌斉唱の後、参加者の最長  
老手塚敬一氏（44 - 5期）の一本締めで宴を終えた。



#### 写真説明

- 写真1 イベントで演奏するきらら会メンバー
- 写真2 チェロとピアノの演奏に聴き入る
- 写真3 ソプラノの上田高校校歌には会場から大きな拍手
- 写真4 総会の講演は「真田丸」と発表する高梨会長